

2020年12月16日

## 味の素(株)、コーポレートベンチャーキャピタルを新設 ～「食と健康の課題解決」への価値創造に向け、事業モデル変革を牽引～

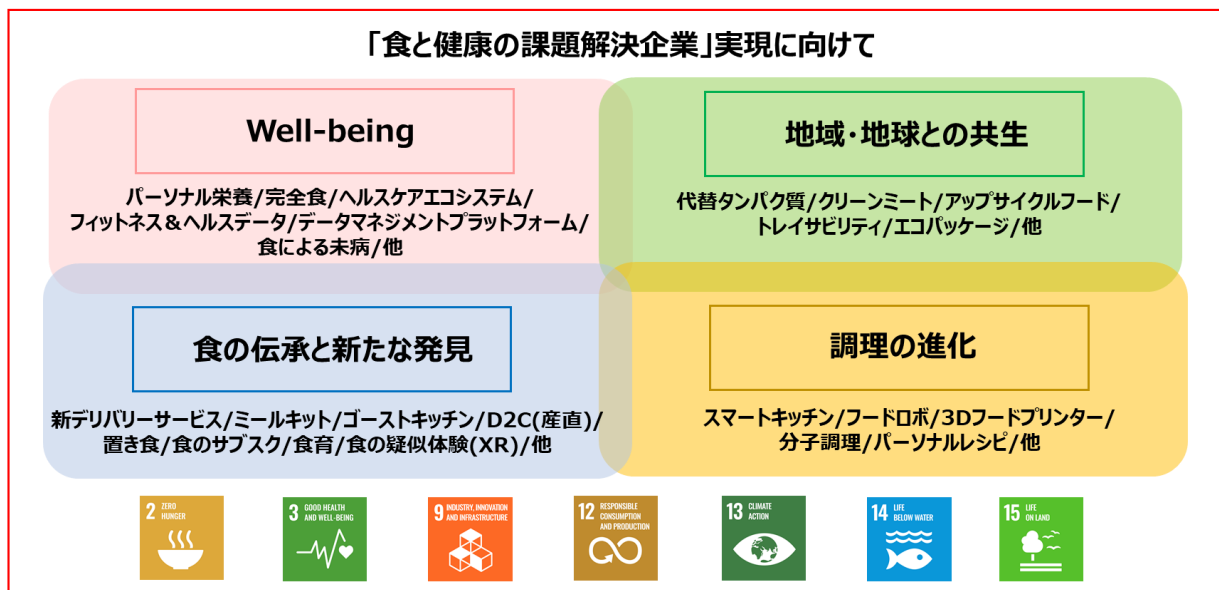
味の素株式会社(社長：西井孝明 本社：東京都中央区)は、「食と健康の課題解決企業」実現に向けた新事業モデル創出を達成するために、イノベーション探索、エコシステムの構築・強化、企業文化変革の牽引を実行するコーポレートベンチャーキャピタル(以下CVC)の活動を2020年12月16日より開始します。R&B(Research and Business)企画部にグループを新設し、フードテックやヘルスケア分野におけるスタートアップ企業やベンチャーキャピタル(VC)への投資を行います。

CVCは、スタートアップ企業との協業によるR&Bの実行や情報収集・ネットワーク構築によりイノベーションを加速する「イノベーションの探索」、スタートアップ企業と共に持続的な協業構造を補完させる「エコシステムの構築・強化」と、スタートアップ企業との連携やイノベーションを担う人財の育成による「企業文化変革の牽引」を目的に、「食と健康の課題解決」に繋がる分野において、卓越した技術やソリューション、事業モデルを有するスタートアップ企業やそれらに投資するVCに出資を行います。2030年の未来として描く「食と健康の将来像」からバックキャストし、「Well-Being」、「地域・地球との共生」、「食の伝承と新たな発見」、「調理の進化」を投資領域として設定しました(下図参照)。

なおCVCは、社内外向けの起業家プログラム\*と共に、事業モデル変革タスクフォースの中核となる取り組みの一つです。

\*社外向け起業家プログラム「Ajinomoto Group Accelerator」および社内向け起業家プログラム「A-STARTERS」

### CVC投資対象領域



当社は2020-2025中期経営計画において「食と健康の課題解決企業」の実現を目標として掲げており、これに向けた施策の一つとして、このたびCVCを新設しました。CVCを通じ、食品やヘルスケア等の事業領域において、自社にない先端技術やソリューション、ビジネスモデルを有するスタートアップ企業やVCとの協業を推進し、自社ノウハウや知見との融合を図ることにより事業モデル変革を牽引します。

## 参 考

2020年11月5日付プレスリリース

味の素㈱、「食と健康の課題解決企業」実現に向けて米国フードテックベンチャーキャピタルAgFunder Inc. および日本ベンチャーキャピタル㈱のファンドに出資

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2020\\_11\\_05.html](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2020_11_05.html)

2020年6月17日付プレスリリース

味の素㈱、社外向けアクセラレータープログラム「Ajinomoto Group Accelerator」を開始

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2020\\_06\\_17.html](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2020_06_17.html)

2020年12月10日付プレスリリース

～スタートアップとの連携強化によりイノベーションを加速～

味の素㈱、社外向けアクセラレータープログラム「Ajinomoto Group Accelerator」の採択企業6社を決定

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2020\\_12\\_10.html](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2020_12_10.html)

味の素グループは、“アミノ酸のはたらき”で食習慣や高齢化に伴う課題を解決し、人々のウェルネスを共創する、食と健康の課題解決企業を目指しています。

私たちは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートメッセージに、アミノ酸が持つ可能性を科学的に追求し、事業を通じて地域や社会とともに新しい価値を創出することで、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2019年度の売上高は1兆1,000億円。世界35の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2020年現在)。詳しくは、[www.ajinomoto.co.jp](http://www.ajinomoto.co.jp)をご覧ください。